

科目	簿記	単位数	2単位	学年	第3学年	講座	
教科書	新簿記（実教出版）		副教材等				

学習目標	1 企業における取引の記録・計算・整理に関する知識や技術を習得する。 2 簿記の基本的な仕組みについて理解する。 3 ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力や態度を身に付ける。
------	--

評価の観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
	簿記に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、適正な会計処理を行うことを合理的に計画し、その技術を適切に活用しているか。	適正な会計処理を行うことを目指し、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に思考・判断し、表現する創造的な能力を身に付けているか。	簿記について関心をもち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに、会計処理を行う実践的な態度を身に付けているか。

時期	学習計画及び内容		評価方法	
1 学期	4月	第5編 決算（その2）	第1回考査	
	5月	第24章 決算整理（その2）		
	6月	第6編 取引の記帳 第25章 財務諸表の作成 第26章 特殊な売買取引 割賦販売、委託販売、試用販売、予約販売の販売方法および未着商品売買		第2回考査
	7月	第27章 特殊な手形の取引		
2 学期	8月	第7編 仕訳帳の分割	第3回考査	
	9月	第28章 仕訳帳の分割		
	10月	第29章 5伝票制による記帳		
	11月	第8編 本支店会計 第30章 本支店の取引		第4回考査
12月				
3 学期	1月	第31章 本支店間の財務諸表の合併	第5回考査 （3年1月） （1、2年3月）	
	2月			
	3月			

学習方法 特に株式会社において日常発生する取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な仕組みについて理解する。また、帳簿や財務諸表を通して、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を身に付ける。副教材の問題集を活用して、基礎的、基本的事項について、十分な記帳練習を重ねて、理解を確実にすることが大切である。また、来年の1月に全商簿記実務検定を受験することを目標にして、資格取得にも積極的に取り組むこと。

備考 3つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習内容のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。